

## 第7回紀の川市長期総合計画審議会 要旨

**開催日時** 令和4年11月10日（木） 午後1時30分から午後2時20分まで

**開催場所** 紀の川市役所 本庁5階 501大会議室

### 出席者

#### 【紀の川市長期総合計画審議会】（委員22名）

仁藤会長、佐久間委員、青木委員、上野委員、井上委員、岡田委員、阪上委員、庄司委員、谷川委員、中川委員、中谷委員、野村委員、福岡委員、上野山委員、藤本委員、高橋委員、半田委員、磯部委員、伊藤委員、片山委員、児玉（敏）委員、玉住委員

（欠席 畠中副会長、岡本委員、川嶋委員、児玉（眞）委員、赤坂委員）

#### 【紀の川市（紀の川市長期総合計画本部）】（1名）角企画部長

#### 【事務局（企画経営課）】（5名）

栗本次長、今井、西端、辻、山名

#### 【傍聴】（なし）

### 資料

①第7回紀の川市長期総合計画審議会 次第 [※事前配付]

②第7回紀の川市長期総合計画資料 [※事前配付]

### 会議の概要

#### 1 開会

#### 2 会長あいさつ

仁藤会長あいさつ

#### 3 新委員紹介

藤原委員の後任に高橋委員が就任

#### 4 審議事項

##### （1）序論について

➤ 要旨

前回の審議会で意見のあったものは可能な限り反映。

基本構想の部分は平成 30 年に 9 年間の目標として設定した部分のため修正しないが、その旨を記載。

人口については、目標人口 6 万人を目指していくことがわかるように表記。

- 委員からの質疑なし。⇒承認。

## 5 報告事項

### (1) 重点プロジェクトについて

- 要旨

目標人口 6 万人を目指していくため、内閣府の人口が増加した市町村の分析結果の視点を取り入れ「呼び込む」「稼ぐ」「育む」「未来をつくる」をテーマにした 4 つのプロジェクトを設定。

- 委員

呼び込む、育む、未来をつくるは主語が市になると思うが、「稼ぐ」だけは色が違うのではないかと。「栄える」などにしてはどうか。

- 事務局

「稼ぐ」の主語は事業者という形になるが、市として稼ぐように支援していく何らかの援助や機会を設け、稼いでもらえるようにプロジェクトを組んでやっていくということで「稼ぐ」プロジェクトとしています。

- 委員

保育施設の再編をすることがなぜ保育の充実につながるのか。

- 事務局

公立保育所の再編は、打田地区と貴志川地区を考えていますが、再編することで低年齢児の受入のための保育施設の整備もあわせて進めるということで充実につながると考えています。

- 委員

「低年齢児の受入拡充」と記載してはどうか。「保育の向上」となると質の向上が一番のミソとなるので「質の向上」も検討してください。

- 会長

これはまだ案ですので、検討してもらおうようにします。

- 委員

観光の分野では「稼ぐ」取組はないのか。

- 事務局

観光については、「呼び込む」に観光コンテンツの開発とポストコロナ、ウイズコロ

ナを見据えた国内外からの誘客促進の取組があり、観光によって関係人口と交流人口をもって人との関係をつなぎ合わせながら人口の減少を抑制します。当然稼ぐということもあります。

➤ 委員

人口を増やすことが目標になるのか。次世代にバトンが渡っていくことが大事なことではないか。人口が減っても住み続けられる展望が持てるかどうかを目標とすべき。目標人口 6 万人にチャレンジすることはいいと思うが、人口減少への備えという考え方で加筆できないか。

➤ 事務局

人口問題では、市長も 6 万人を目指していくと議会で答弁しており、今回それに向けて計画を作る必要があると考え、重点プロジェクトとして表記しています。委員の意見も当然ですが、ご理解いただきたいと思います。

➤ 委員

人口を増やすのであれば、ニュータウンを作ったり、宅地開発を進めるということだが、そっちの未来ではない。紀の川市らしい資源がつながっていく、あり方を変えていくことが必要ではないか。

➤ 委員

呼び込む施策について市職員の方が本気で、戦略をもって取組を進めていただきたい。鞆地区は限界集落になっている。限界集落になっているところをどうしていくのか、市の合意形成ができていないのではないか。ホテルサミットなども他の自治体と協力して実施しているが、市の戦略が見えてこない。ホテルを守るなら護岸工事をして水路にしてはだめ。石積みの中に隠れるカワニナや魚を守れてこそ継続して観光にも生かせる。市としては現地の動きに合わせて戦略を立て、場当たりのではなく戦略に基づき事業を実施していただきたい。また、このプロジェクトは職員が内部でするだけなのか、委員も含めてやることか。

➤ 会長

非常に貴重なご指摘です。先ほどの説明にもありましたが、このプロジェクトを立ち上げ、みんなで頑張っていきましょうというアピールのところで、核につきましては、ご意見を伺いながら問題点を浮き彫りにしていきたいと思いますがよろしいですか。

➤ 委員

はい。

➤ 委員

今まで審議会で細部事項を決めてきたが、今になってプロジェクトとして設定する

のはどうか。このプロジェクトはスローガンとするのか、具体的プロジェクトとして示すのかで今後の検討の中身が変わってくる。前期にはプロジェクトは入っていない。だからこそ個別の推進項目を考えるため委員が集まり、要望を吸い上げたにもかかわらず、今になってプロジェクトというのはどうか。

➤ 事務局

長期総合計画には基本構想があります。その将来像は「人が行き交い自然の恵みあふれる住みよいまち」という大きな目標になっています。人口が減少していくといろいろなところで不具合が出てきますので、6万人という人口の目標を基本構想で掲げていましたので、それについては頑張っていきたいということで、プロジェクトを、人口減少を抑制して増加に転じられるような施策をクローズアップさせていただいています。プロジェクトの中身については、長期総合計画の基本計画に当然紐づけされたことを選択と集中の中でやっていくという位置づけになっています。

➤ 委員

理解できましたが、そういう説明があつて、この4つを挑戦したいのであれば、項目だけを決めておいて、細部事項はそれぞれの立場の方に委ねるなり、今まで考えていただいた意見を吸い上げて盛り込んでいただきたい。その方が理解なり納得しやすい。両方示してこれですでは、決まった話を説明しているだけで納得できない。

➤ 会長

26ページ以降の具体的な取組については検討していきたいと思います。

➤ 委員

産科医院の開設支援とあり、すごく大切なことで、産科が新しく開設したらありがたいことですが、公立那賀病院にも産科がなくなり2年以上経つが動きがない。記載できないか。

➤ 事務局

検討していきたいと思います。

➤ 会長

先ほどの説明にもありましたが、これはまだ完全に固定したものではなく、皆さんの意見を反映できる範囲もありますので、ただいまお伺いした意見を事務局で反映するようにしておきます。

(2) 後期基本計画の体系について

➤ 要旨

1-2-2 と 1-2-3 を統合し「地域の医療体制・医療保険制度の充実」として一体的に評価検証を行う。

1-3-4 を 1-3-1「地域福祉の仕組みづくりと推進」に統合し一体的に評価検証していく。

2-1-3 を家庭教育の推進も反映した施策名「家庭と地域による青少年の育成」に。

3-3-2 の取組方針であった多文化共生の推進を施策名に「国際交流・多文化共生の推進」

4-2-1 を地球温暖化対策にも取り組む姿勢を見せるため施策名を「快適な生活環境の維持と地球温暖化対策の推進」に。

5-3-1 として「デジタル化の推進」を新設。

5-3-2 を「市政情報の発信と市政参加の促進」とし広報、広聴に特化した施策に。

シティプロモーション事業は 5-2-2 へ移し、移住定住施策と関係人口を創出する施策を一体的に取り組む。

情報公開の取組は、5-3-4「将来を見据えた行政経営の推進」へ。

➤ 委員からの質疑なし。

### (3) 市民意識調査の実施について

➤ 要旨

対象者：18 歳から 75 歳の市民（基準日は 11 月 1 日）1,500 人。

期間：11 月 14 日から 12 月 2 日まで。

回答方法：郵送、インターネット。

➤ 委員

今、市民意識調査を実施する理由は。

➤ 事務局

後期基本計画で成果指標となる項目の現状値を確認するためです。現状値をもとに目標値も決定します。

### (4) 今後のスケジュールについて

➤ 要旨

第 8 回の審議会は 12 月 22 日（木）午後 1 時 30 分から開催。

第 9 回以降は日程が決まり次第連絡。